

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名	バイオマス活用の推進					所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課				
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000000033.html					(連絡先)	213-4930				
						(評価票作成者)	循環企画課担当課長 堀 寛明				

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性			24予算額 (千円)	事務事業の内容				
25,582	12,200	充実			9,900	生ごみや廃木材等のカーボンニュートラルなバイオマスの活用を促進し、低炭素社会・循環型社会の構築に資する。				
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容					事務事業の 性格	☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業		
	☒ 部分委託	(名称)①株式会社地域計画建築研究所ほか								
	☐ 部分補助等	②山国自治会ほか								
	☐ 全部委託	(内容)①生ごみのコミュニティ堆肥化支援								
	☐ 全部補助等	②生ごみのコミュニティ堆肥化地元管理								
実施根拠 (法令、条例、 規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020) バイオマス活用推進基本法					会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計			
開始時期	平成	19	年度	終了(予定)時期	平成	-	年度			
事業に関連する 実行計画等	☒ 有 ☐ 無	計画名	①京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020) ②京都市地球温暖化対策計画(京都市環境モデル都市行動計画) ③京都市バイオマス活用推進計画 (2011-2020)				計画期間	①平成21～32年度 ②平成23年度～ ③平成22～32年度		

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	93,702	65,723	25,582	12,200	9,900
		需用費	4,432	1,383	43	3,091	125
		役務費	486	34	17	15	34
		その他	486	34	1,535	601	771
	①'	委託料 バイオガス化事業可能性調査、バイオマス活用推進計画進ちょく状況調査等	88,298	64,272	23,987	8,493	8,970
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	94. 2%	97. 8%	93. 8%	69. 6%	90. 6%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	33,419	44,481	40,706	27,843	20,806
		職員(課長級) (人)	0.38	1.08	1.06	1.06	0.40
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.86	0.65	1.21	0.44	0.49
		職員(係員) (人)	2.32	3.00	1.98	1.37	1.37
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+②) (千円)	127,121	110,204	66,288	40,043	30,706
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)		33,166	6,730	12,200	9,900
		国庫・府支出金 (千円)			3,365		
		その他(基金繰入金) (千円)		33,166	3,365	12,200	9,900
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	127,121	77,038	59,558	27,843	20,806

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名

バイオマス活用の推進

業績評価

A 進捗状況	平成20年度以前	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実施状況	- バイオマス資源発生量及び利用状況調査 - 市庁舎等の生ごみ利用によるエネルギー回収及び高効率化実証研究 - 生ごみ等の分別収集による新たなエネルギー生成モデル実験及び実験結果のとりまとめ	- 市庁舎等の生ごみ利用によるエネルギー回収及び高効率化実証研究 - 生ごみ等の分別収集による新たなエネルギー生成モデル実験及び実験結果のとりまとめ	- 市庁舎等の生ごみ利用によるエネルギー回収 - 京都市バイオマス活用推進計画の策定	- 京都市バイオマス活用推進計画の進捗状況の把握 - 生ごみのコミュニティ堆肥化
事業の進捗率				
進捗状況分析	平成20～21年度に、家庭から出る生ごみを分別し、バイオガス化していく「生ごみ等分別収集モデル実験」及び地域で発生した生ごみを堆肥化し地域で地産地消の取組を目指す「コミュニティ型堆肥化モデル実験」を行い、実験結果を「京都市循環型社会推進基本計画（2009-2020）」に反映させた。 平成22年度は、バイオマス全般についての総合的な活用に向けた調査及びモデル事業を実施し、「京都市バイオマス活用推進計画（「京都市バイオマスGO!GO!プラン」）」を策定した。 平成23年度は、「京都市バイオマス活用推進計画」の進捗状況を把握するとともに、生ごみのコミュニティ堆肥化実施地域拡大のため、自治会等に働き掛けを進めている。			
B 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般	<現状分析、今後の方針等> 平成22年度策定の「京都市バイオマス活用推進計画」の進捗管理を通じて、市内のバイオマスの総合的な活用を促進するとともに、生ごみのコミュニティ堆肥化は、燃やすごみの削減、地域での資源循環に資する取組として、実施地域の拡大に努める。		

Ⅲ 今後の方向性

充実	(今後の方向性理由及び具体的な内容) バイオマスの活用を図るため、生ごみのバイオガス化技術実証の成果の実用化に向けた調査等を実施する。 なお、生ごみのコミュニティ堆肥化は、平成24年度から生ごみ3R推進事業において実施するものとする。
----	---